

環境材料を、 使える材料へ。

材料実装評価サービス

材料をつかって終わりではなく、実際に成形し、評価する。

ケーエムケーは、データで実装可能性を判断するお手伝いをします。

少量の材料から、まず試せる。

50gからの試験片作製

「この材料、使える？」を確かめる。

再生プラスチックやバイオマス複合材を、成形性と物性の両面から評価。

※必要な材料量は、材料・試験内容によりご相談ください。



混ぜる。つくる。測る。データで判断する。

01

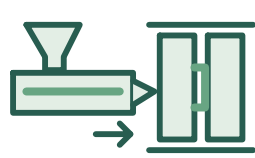


混練

材料を混ぜる

材料と樹脂を混ぜ合わせ、
成形に向けた材料を
準備します。

02

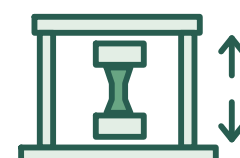


成形試作

形にできる？

少量材料から試験片を作製。
実際に成形して、
成形性を確かめます。

03



物性試験

性能はどう？

試験片やペレットを使い、
各種物性を評価。
用途に向けた特性を捉えます。

04



データ変換・分析

使うための条件は？

測定データや映像を分析。
成形条件や材料の課題を、
判断できる情報にします。

KIFMoS | 成形の中を見える化

金型内の温度・圧力変化の測定と流動解析。
成形プロセスを捉え、評価・分析につなげます。

RaDiFaS連携 | 試したい形で評価

金型作製・成形試作との組み合わせにより、
試したい形状での成形評価につなげます。

評価の先にあるもの

実装の可能性と、次に確かめるべき課題を明確に。

成形できるか、どんな特性があるか、どこを改善するか。
材料の選定や成形条件の検討を、データで支援します。

資源を循環させるには、「使える」の確認が必要です。

再生材・バイオマス複合材を、製品に使うための評価へ。
実装に向けた判断を支え、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します。

